

令和7年度

# 七戸町歳入歳出決算書

青森県上北郡七戸町

# 令和7年度決算書目次

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 報告書(主要施策の成果概要) .....              | 2   |
| 令和7年度決算審査意見書 .....                | 19  |
| 令和7年度一般会計歳入歳出決算書 .....            | 41  |
| 令和7年度一般会計歳入歳出決算事項別明細書(歳入の部) ..... | 53  |
| 令和7年度一般会計歳入歳出決算事項別明細書(歳出の部) ..... | 93  |
| 財産に関する調書 .....                    | 232 |
| 令和7年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算書 .....      | 239 |
| 令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書 .....     | 273 |
| 令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算書 .....        | 293 |
| 令和7年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算書 .....    | 341 |
| 令和7年度七戸霊園事業特別会計歳入歳出決算書 .....      | 357 |
| 令和7年度水道事業会計決算書 .....              | 375 |
| 令和7年度下水道事業会計決算書 .....             | 403 |

## 報 告 書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、令和7年度における各部門の主要施策の成果概要を次のとおり報告する。

令和8年9月4日  
七戸町長 田嶋邦貴

### 1. 総務課

#### （1）交通安全対策関係

- ① 道路反射鏡を2基設置し、既存の道路反射鏡3基を補修した。
- ② 町道に総延長27,313.4mの区画線を整備した。
- ③ 学童の登下校の正しい通学指導を実施した。

#### （2）防犯対策関係

- ① 小・中学校の長期休暇中、防犯パトロール及び安全安心まちづくりパトロールを実施した。
- ② 4月、6月、8月、10月、12月の年金支給日に、金融機関周辺において、特殊詐欺防止のための啓発活動を行った。

#### （3）消防関係

石油貯蔵施設立地交付金事業等により防火衣一式8組を購入した。  
電源立地地域対策交付金事業により消防ポンプ自動車1台を整備した。

#### （4）交通災害共済

交通災害共済の加入者数は5,046人（加入率38.18%）で、見舞金の給付件数は9件であった。

#### （5）防災関係

- ① 避難所において使用する5年保存の簡易食料を整備した。
- ② 自主防災組織に関する補助金制度を設け、組織運営に係る費用の補助を2件実施した。

### 2. 企画調整課

#### （1）物価高騰対策関係

エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた住民生活の支援を通じた地方創生を図るために「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を5事業に配分した。

#### （2）デジタル化推進関係

- ① 第1次七戸町デジタル推進計画に基づき、住民サービスの向上及び行政事務の効率化を図るため、書かない窓口の推進や庁内情報共有ツールの活用など、行政のデジタル化を推進した。
- ② 住民ポータルサイトとして運用している公式LINEについて、情報発信に加え各種申請・通報機能の活用を推進し、住民の利便性向上を図った。また、LINEを活用した証明書発行サービスの導入準備を進め、来庁しなくても行政サービスを利用できる環境整備に努めた。
- ③ 町における基盤情報システム等の共同利用、手続きの簡素化、迅速化、行政の効率化等を推進するため、システムの標準化・共通化に取り組んだ。具体的には、現行業務および現行システム機能と標準仕様書との比較分析による課題整理を経て、現行業務の見直し、システム移行計画の策定、およびガバメントクラウド環境へ構築した標準準拠版システムへのデータ移行を行った。これら一連の導入プロセスをすべて完了し、現在は本番運用を開始している。

#### （3）ゼロカーボン総合戦略の推進

町民・町内事業者の省エネ・再エネ設備の普及を目的に、七戸町再生可能エネルギー設備導入事業を令和5年度より開始し、太陽光発電システム（7件）、蓄電池（7件）、EV・PHV家庭用充電設備（2件）の補助を実施した。

#### （4）まちづくり関係

魅力あふれる町に創造することを目的とした第3次七戸町長期総合計画を策定した。

#### （5）公共交通関係

交通空白地帯の解消を図るためコミュニティバス・シャトルバスを運行し、役場等の公共施設や病院及び商店街利用者の利便性向上に努めた。

#### （6）路線バス維持対策事業

地域において生活に必要な交通の確保を図り、利用者の利便性及び福祉の向上に資するために、

乗合バス事業者（十和田観光電鉄株式会社）に対し 7 路線分を補助した。

（7）統計関係

国内の人口・世帯の実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得るため、令和 7 年国勢調査を実施した。調査員及び指導員との連携のもと、調査票の配布・回収やオンライン回答の推進を行い、正確かつ円滑な調査の実施に努めた。

（8）広報広聴関係

「広報しちのへ」や LINE、d ボタン広報、ユーチューブ、SNS を活用した情報発信を実施した。「広報しちのへ」を広告媒体とした有料広告掲載事業を実施した。

（9）移住定住、交流の推進

- ① 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税・寄附件数 4 件）を活用して、「国民スポーツ大会青の煌めきあおもり国スポ 2026 に対する取組みの PR 活動」や「みらいかがやく子育て支援金」を実施した。
- ② 移住の検討を目的に七戸町へ来町する方に対して交通費等の経費を補助する移住体験支援事業（3 件）を実施した。
- ③ 移住の検討をしている方の相談を受け移住への意欲を高めてもらうため、青森県 UI ターンフェアに出展した。（相談者 6 名）
- ④ 移住定住の促進を図るため、住宅取得費を補助するナナイロぐらしマイホーム補助金（18 件）を交付した。
- ⑤ 移住・定住に寄与する地域づくり活動に関心のある任意団体が実施する移住・定住に寄与する活動を補助するため、地域づくり支援事業（2 件）を実施した。
- ⑥ 町内の空き家等の情報提供を円滑に行い、利用したい方への橋渡しを目的とした「空き家等情報バンク」へ 3 件の空き家・空き地を登録した。
- ⑦ 婚姻に伴う経済的な負担の軽減を図るとともに、地域における少子化対策に資するため、婚姻により新生活を始めるための費用を支援する結婚新生活支援事業（2 件）を実施した。
- ⑧ 都市地域から移住し地域協力活動を行うために、地域おこし協力隊としてアウトドア事業企画・運営に係る隊員 1 名、SNS 等を活用した町の情報発信に係る隊員 1 名、SNS 等を活用した美術館の情報発信及び広報業務に係る隊員 1 名を委嘱した。

（10）各種交付金事業

- ① 広報・調査等交付金を受け、「原子力だより AE」を 4 回毎戸に配布した。
- ② 近隣地域と連携し広域の消費生活センターを運営したほか、消費者問題に関する啓発物品を町民に配布した。
- ③ 町村の魅力発信事業助成金を受け、「七モニュメント照明 LED 化事業」や「しちのへ秋まつり補助事業」に助成した。

（11）男女共同参画関係

男女共同参画の理解・促進を目的に、広報誌に 4 コマ漫画（2 回）を掲載した。

### 3. 財政課

（1）公共施設関係

- ① 公共施設の長寿命化を図るため、天間林農村環境改善センター、岨地区集会所、森林公園（トイレ、炊事場）の屋根塗装工事を実施した。
- ② 役場新庁舎建設事業において、基本設計・実施設計業務及びオフィス環境整備業務を発注するにあたり、七戸町役場新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託及び七戸町役場新庁舎オフィス環境整備業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、公募型プロポーザル方式により事業者を選定した。また、新庁舎の基礎工法を検討するため、建設予定地において地質調査業務を実施した。
- ③ 老朽化が著しく、耐用年数も過ぎている「倉岡生活改善センター」及び同敷地内にある「七戸第 5 分団屯所」の複合施設を建設するため、改築工事設計業務を実施した。

（2）公園管理関係

森林公園、尾山頭ふれあいの森、つつじロード、旧健康広場、駅前街区公園等の維持管理修繕及び環境整備（除草、樹木の剪定、清掃等）を実施した。

（3）町有林関係

太田山町有林 6.74ha の下刈作業を実施した。

#### 4. 税務課

- (1) 税収入の確保と町民の納税の公平性確保及び徴収率を向上させるため、次のとおり実施した。
  - ① 納税相談
  - ② 財産調査並びに差押えの実施
  - ③ 青森県市町村税滞納整理機構と連携した滞納整理の実施
- (2) 税についての知識普及のため、次のとおり実施した。

小中学生を対象とした納税作品の募集

応募数：小学生 習字 102 点、ポスター2 点、中学生 習字 10 点、作文 5 点
- (3) 家屋課税台帳データについて、土地家屋現況図データ等の基礎資料を基に、家屋の所在調査を行うことで、固定資産税の公平かつ公正な課税を推進するため、次のとおり実施した。

固定資産家屋評価支援業務(事業費 7,755 千円)

未評価疑義家屋について、250 棟分の調査、図面作成、統合型 GIS へのセットアップを実施した。
- (4) 令和 6 年度実施した定額減税調整給付金において、不足が生じる方などに対し、不足額給付金支給事業を実施した。(給付額 53,840 千円)

#### 5. 町民課

- (1) 国民健康保険関係
  - ① 保険税（一般現年課税分）収納率は 95.84%（前年比 0.76%増）となった。

保険税の徴収体制のさらなる充実を図り、滞納処分の強化等による滞納者解消対策に努める。
  - ② 令和 7 年度末の被保険者総数は 2,758 名（前年比 7.43%減）。

世帯数は 1,965 世帯（前年比 6.06%減）となった。
  - ③ 出産育児一時金を支給した。(3 件)（前年比 50.00%減）
  - ④ 葬祭費を支給した。(35 件)（前年比 9.38%増）
- (2) 後期高齢者医療関係
  - ① 令和 7 年度末現在の被保険者数は 3,448 名で前年度と比較し 43 名の増となった。保険料の未納者に対し電話催告、臨戸訪問を強化するも、保険料現年分の収納率は 99.58%（前年比 0.08%減）となった。
  - ② 被保険者が亡くなったとき、申請により葬祭を行った方に葬祭費を支給した。(229 件)
  - ③ 複数の健康課題に対する取組を一体的に行うことにより、生活習慣病の重症化予防や要介護状態を予防し、高齢者の健康増進及び健康寿命の延伸を目指す「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」に取り組み、ハイリスクアプローチとして延べ 26 名に低栄養予防指導、54 名に糖尿病重症化予防指導（要精検者 26 名、治療中ハイリスク対象者 28 名）、健康状態不明者 15 名に健康相談や健診受診勧奨等を実施した。また、ポピュレーションアプローチとして通いの場等で 335 人(延べ 25 回)にフレイル予防等の健康教育を実施した。
- (3) マイナンバーカード交付関係

マイナンバーカードの円滑な交付のため、「個人番号カード交付事務費補助金」を活用して、平日に加え休日窓口を開設し交付事務を行った。

令和 7 年度交付枚数 1,603 枚

令和 7 年度末交付済累計枚数 14,910 枚（交付率 98.1%）
- (4) 戸籍関係

第 3 号施行日(令和 7 年 5 月 26 日)時点で七戸町に在籍しているものに、戸籍に記載される仮の振り仮名を通知した。

#### 6. 保健福祉課

- (1) 社会福祉関係
  - ① それぞれの地域住民の立場に立って、生活や子育て支援等の相談に応じるとともに、必要な援助を行った。
    - 1) 民生委員児童委員 (49 人) 3,464 件
    - 2) 主任児童委員 (3 人) 135 件
  - ② 物価高騰による負担軽減のため、住民税非課税世帯または住民税均等割のみ課税世帯に対する灯油購入費助成給付金を 1 世帯当たり 7 千円支給した。(対象世帯数 2,651 世帯)

(2) 環境衛生等関係

① 狂犬病予防対策として、犬の登録管理と狂犬病予防注射を実施した。

- 1) 犬の登録数 715 頭 (うち新規登録頭数 39 頭)
- 2) 狂犬病予防注射実施頭数 584 頭

② 地域環境保全対策として、ごみ箱設置助成事業を実施した。

- 1) ごみ箱設置助成基数 8 基

(3) 保健衛生関係

① 予防接種事業

- 1) 65 歳以上の高齢者を対象に新型コロナワクチン接種 (1,607 人) 及びインフルエンザ予防接種 (3,832 人) を実施した。
- 2) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種を令和 7 年度内に 65 歳に到達する者 (69 人) に実施した。
- 3) 带状疱疹ワクチンを令和 7 年度に 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100 歳以上に到達する者 (348 人) に実施した。
- 4) 新型コロナワクチン接種による健康被害により、国の認定を受けた対象者 (1 人) に新型コロナウイルス予防接種健康被害給付をした。

② 献血推進事業

広報、ライオンズクラブ等を活用して献血協力を呼びかけ、献血 8 回 (235 人) を実施した。

③ 健康増進事業

- 1) 住民の疾病予防と保健の向上のため、集団健康教育 (年 16 回 延べ 806 人)、健康相談 (37 回 延べ 1,322 人)、訪問指導 (延べ 69 人)、電話相談 (延べ 247 件)、歯周疾患検診 (94 人) 等を実施した。
- 2) 生活習慣病予防のため、特定健診 (1,073 人)、後期高齢者健診 (792 人)、肺がん検診 (1,918 人)、胃がん検診 (1,219 人)、大腸がん検診 (2,234 人)、乳がん検診 (674 人)、子宮がん検診 (448 人)、骨密度検査 (82 人) を実施した。  
また、メタボリック症候群予備群及び該当者 84 人のうち 43 人に対して特定保健指導を実施した。
- 3) 住民の栄養・体・こころの健康相談ができる場所として生活習慣病健康相談を開催し、各種健康測定、食事指導、保健指導実施した。(全 13 回開催。来所者延べ人数 135 名)
- 4) 町民の健康づくり及び運動習慣定着を目的に、健康運動指導士によるウォーキング教室と室内運動教室を全 4 回開催した (参加者延べ人数 97 人)。
- 5) 働き世代である 40、50 歳代の特定健診とがん検診の受診率向上のため、受診料自己負担額の無料化を実施し、対象者延べ 1,071 人が受診した。
- 6) 地区組織事業として、食生活改善推進員協議会では、町内小学校 4 年生または 5 年生を対象に、調理実習と食育講話を通して、バランスよく食べることの大切さを伝えた (3 回 延べ 87 人)。また、いきいき大学閉講式において受講者に対しフレイル予防に関する健康食提供 (1 回 31 人)、地区健康料理教室 (2 地区 50 人) を実施した。野菜摂取量増加と食生活改善を目的としたベジチェック測定会に協力し、簡単野菜レシピの普及活動を行った (3 回 217 人)。  
保健協力員協議会では、保健協力員 73 名が通年通して健診受診の声かけ活動を実施した。また、町内の商業施設前にて、健診受診率アップに向けた普及啓発活動を行い、健診受診の大切さについて説明し、受診勧奨を行った (2 回 497 人)。その他、各種保健事業への協力や研修を通じて学び得た知識を地域住民に伝えるよう活動に努めた。
- 7) 七戸町における死亡原因のうち最も多いがんによる死亡率の減少を図るため、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診の精密検査受診率向上による早期発見・早期治療を推進することを目的とし、精密検査に係る費用の助成を行った結果、延べ 36 人が、本助成を活用し精密検査を受けた。
- 8) がん患者に対し、経済的負担の軽減及び罹患前と同様に不安なく日常生活や社会生活を送ることができるようになるため、治療の影響による外見の変化を補整するための用具の購入費用の一部を助成した結果、延べ 2 名が、本助成を活用し、補整具を購入した。
- 9) 健康づくり推進協議会を年 2 回開催し、町民の健康づくり (自殺対策含む) について、総合

#### ④ こころの健康づくり事業

- 1) 年度末年齢 30 歳、35 歳、40 歳、45 歳、51 歳、56 歳（男性）、65 歳、70 歳、75 歳（女性）の方 727 人を対象に、こころの健康度を振り返るための「こころの健診」を実施した。（受診者 275 人 受診率 37.8%）
- 2) 子どもの頃から心の健康に気を配り、悩みを抱え込まないよう、小学校 4 年生を対象にこころの健康づくり教室を開催した。（3 回 89 人）
- 3) 自殺対策の総合的かつ円滑な推進のため、七戸町いのち支える自殺対策推進本部会議と、七戸町いのち支える自殺対策ネットワーク推進協議会を開催した。

1) 糖尿病疑いの者 (48 人) 及び糖尿病治療者 (83 人) に対し個別指導を実施した。また、治療中断者 (3 人) には電話等で状況確認を行い、定期受診を継続するよう指導した。

- 1) 通いの場等(15団体25回)での健康教育を実施した(延べ335人)。
- 2) 高齢者に対する個別的支援として、低栄養者への個別指導(26人)や糖尿病性腎症重症化予防としての個別指導(54人)、健康状態不明者に対するアウトリーチ支援(15人)を実施した。

町制施行合併 20 周年記念として、なないろ健康フェアを開催し、町の健康課題と健康づくりの取り組みについて紹介し、第 3 次健康しちのへ 21 計画について周知した。また、健康のまちづくり宣言による健康機運の向上、児童生徒による健康に関する標語・ポスターコンクール、健康測定・各種相談コーナー、講演会などにより、町民が健康に関心を持ち、生活習慣を振り返る機会となるよう実施した（来場者数 258 人）。

## ① 障害者・児福祉サービス

- 1) 障害者福祉サービス給付実績  
○介護給付等 2,626 件  
○計画相談支援 289 件
- 2) 障害児福祉サービス給付実績  
○障害児通所給付等 393 件  
○計画相談支援 62 件
- 3) 障害福祉サービス等受給者数  
○障害福祉サービス受給者証交付件数 147 件  
○地域生活支援事業利用者数 8 人
- 4) 福祉用具等の給付  
○補装具支給 13 件    ○補装具修理 22 件    ○日常生活用具給付 425 件
- 5) 更生医療費助成給付 500 件
- 6) 育成医療費助成給付 1 件

|                      |          |           |           |
|----------------------|----------|-----------|-----------|
| 1) 身体障害者手帳交付         | ・新規 43 件 | ・再交付等 7 件 |           |
| 2) 愛護手帳交付（療育手帳）      | ・新規 13 件 | ・変更等 25 件 |           |
| 3) 精神障害者保健福祉手帳交付     | ・新規 19 件 | ・継続 63 件  |           |
| 4) 自立支援医療費（精神通院医療進達） | ・新規 31 件 | ・継続 211 件 | ・変更等 81 件 |
| 5) 障害支援区分認定者         | 91 人     |           |           |

## 7. こどもみらい課

- ② 児童等の医療費の負担軽減を図るため、こども医療費助成事業(対象:0歳から18歳まで20,190件)並びに、ひとり親家庭等医療費助成事業(対象:親1,124件、18歳までの児童2,698件)を実施した。
- ③ 次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、18歳以下の子どもを扶養する保護者等に対し児童手当を支給した。
- ④ 放課後児童の健全育成を図るため小学校全学年を対象に、4児童センターで放課後児童健全育成事業を実施した。1日平均利用人数は、城南学童保育クラブ28人、城北学童保育クラブ55人、天間西学童保育クラブ28人、天間林学童保育クラブ33人であった。
- ⑤ 次年度に入学等及び卒業する予定の児童を持つ子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに福祉の増進を図るため、小学校入学予定児童を養育する者に対し5万円、中学校入学予定児童を養育する者に対し10万円、中学校卒業予定児童を養育する者に対し15万円を支給した。(支給対象者:5万円62人、10万円93人、15万円115人)
- ⑥ 妊娠の届出を行った妊婦に対し経済的支援を図るため、妊婦のための支援給付金(妊娠1回につき5万円、対象児1人につき5万円)を支給した。(支給妊婦36人、支給養育者41人)
- ⑦ 物価高騰の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、児童1人あたり2万円を支給した。(支給対象児童1,543人※一部令和8年度繰越分含む)
- ⑧ 地域の関係機関が連携して、児童虐待予防及び虐待対応の取組みを行うための合意形成の場として要保護児童対策協議会代表者会議(1回)を開催した。また、支援対象児童等の支援の方向性や進捗状況の把握をするために実務者会議(5回 91件について検討)を実施した。

## (2) 予防接種事業

- ① 予防接種法に基づき定期予防接種を実施した。(ロタ延べ69人、B型肝炎延べ96人、BCG接種36人、麻疹・風疹混合1期35人、2期62人、四種混合延べ13人、五種混合延べ143人、二種混合71人、日本脳炎1期初回95人、1期追加50人、2期89人、水痘延べ76人、子宮頸がん延べ142人、小児用肺炎球菌ワクチン延べ150人、ヒブワクチン延べ10人)

## (3) 母子保健関係

- ① 母子健康手帳の交付(31人)(転入妊婦1人)、妊産婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦委託健康診査:妊婦1人当たり14回分(実人員51人、延べ410人)、妊婦健康診査交通費助成(39人)、産婦健康診査費助成:産婦1人当たり2回分(実人員36人、延べ58人)を実施した。歯周病による早産・低出生体重児の出生を予防するため、妊婦歯科健診受診の助成(18人)をした。
- ② 子育て世代包括支援センター業務として、全ての妊婦に母子手帳交付時、妊娠25週の後期面接時の応援プラン(母子手帳交付時32件、後期面接時36件)を作成した。
- ③ 難聴児の早期発見・早期療育と経済的負担の軽減を図るため、新生児聴覚検査助成(33人)を実施した。
- ④ 出産後の授乳や卒乳への悩みに対応するため、産後ケア(延べ6件)を実施した。
- ⑤ 乳児(新生児・未熟児を含む)訪問(延べ34件)、産婦訪問(延べ34件)、乳児委託健康診査(1か月児32人、3か月児39人)、2か月児健康相談(32人)、7か月児健康相談(32人)、11か月児健康相談(37人)1歳6か月児健康診査(48人)、2歳児健康相談(42人)、3歳児健康診査(49人)、5歳児健康相談(62人)を実施した。
- ⑥ 中学3年生を対象に思春期健康教育「生をみつめる学習」(1校実人数55人)を実施した。
- ⑦ 幼児健康診査の事後フォローとして、子育て相談(2回延べ2人)、ことばときこえの発達相談(3回11人)、幼児精神発達精密検査(5回5人)を開催し、発達障害等の早期発見、療育を図った。

## 8. 介護高齢課

### (1) 高齢者福祉関係

- ① 敬老事業  
令和7年度中に77歳、88歳、88歳夫婦、95歳、100歳に到達する方々を参集し盛年式を開催した。(内訳:七戸地区87人、天間林地区65人)
- ② 長寿祝金事業  
100歳の祝金30万円を9人に、88歳の祝金3万円を150人に贈呈した。
- ③ 入浴事業

利用者数 延べ 27,605 人（内訳：ゆうずらんど 22,380 人、天間林老人福祉センター5,225 人）

※天間林老人福祉センターの入浴サービスは令和 7 年 9 月末で終了。

④ 天間林地区高齢者入浴料補助事業

天間林老人福祉センターの入浴サービスが令和 7 年 9 月末で廃止となったことに伴い、同センターを利用していた高齢者 253 人に対し天間林地区の民間温泉施設を 100 円で利用できる入浴料補助券（26 回券）を配布した。

⑤ 高齢者への就業機会の確保・提供、地域社会の活性化等を行う公益社団法人中部上北広域シルバー人材センターに対し助成した。

会員数 255 人（内訳：七戸町 159 人、東北町 96 人）

（2）地域支援事業関係

① 一般介護予防事業

1）生きがい活動・認知症予防教室

高齢者の生きがいと社会参加の促進を目的に、家に閉じこもりがちな高齢者及び要介護状態になるおそれのある高齢者等を対象に介護予防教室を開催した。（92 回 延べ 880 人）

2）げんき楽しみ会

高齢者が住み慣れた地域でできる限り自立した生活を送ることができるよう、閉じこもり予防や認知症予防等の介護予防活動を行った。（12 回 延べ 65 人）

3）健康教育

保健福祉課と連携し「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」としてポピュレーションアプローチの場を提供し、高齢者の健康増進と介護予防に取り組んだ。さらに、地区の通いの場で介護予防健康教室を 2 回実施した。

（3）地域包括支援センター関係

① 総合相談支援業務

1）地域包括支援センターの周知

地域包括支援センターの役割について広く周知し、高齢者の相談が集約されるようネットワークの構築を図った。（民生委員定例会への参加）

2）総合相談

延べ 1,460 件の相談に対応した。

3）地域型在宅介護支援センター

町内 4 箇所の在宅介護支援センターに地域包括支援センターの「つなぎ窓口」を設置した。

| センター名          | 相談件数  |
|----------------|-------|
| 公立七戸在宅介護支援センター | 108 件 |
| 美土里荘在宅介護支援センター | 73 件  |
| 城南在宅介護支援センター   | 155 件 |
| 天寿園在宅介護支援センター  | 175 件 |

4）地域実態把握

民生委員、認定調査員、地区担当保健師、地域型在宅介護支援センターからの情報を基に、独居高齢者や要援護高齢者を訪問し、地域の実態把握に努めた。

② 権利擁護業務

1）成年後見制度及び権利擁護の相談へ対応した。（延べ 60 件）

2）高齢者虐待の相談へ対応した。（延べ 26 件）

3）成年後見制度利用支援事業として、成年後見人等に対する報酬助成を 4 件実施した。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント

1）地域ケア個別会議を開催した。（7 回 延べ 235 人）

2）介護支援専門員研修会を開催し、地域包括ケア推進のために必要な知識、技術の取得に努めた。（2 回 52 人）

④ 在宅医療・介護連携推進事業

地域ケア個別会議の場で ACP における役割についての情報交換や、在宅医療に関する研修会を開催した。（2 回 80 人）

⑤ 介護予防ケアマネジメント

1）指定予防居宅介護支援業務として要支援 1・2 と認定された対象者延べ 1,229 件の介護予防ケ

アマネジメントを実施した。

- 2) 介護予防・日常生活支援総合事業として 826 件（訪問型サービス 331 件、通所型サービス 495 件）の給付を実施した。

⑥ 認知症対策

- 1) 広報に通年で認知症関連記事と認知症の相談窓口を連載・周知した。  
2) 認知症を正しく理解し、地域で見守る応援者を増やすことを目的に認知症サポーター養成講座を開催した。キャラバン・メイトが主体となり、自治体事務局（七戸町地域包括支援センター）と協働して、天間林中学校で生徒（3 年生）と教員を対象とし、49 名が受講した。  
3) 徘徊するおそれのある高齢者等の情報を事前に登録しておくことにより、緊急時に対応できる体制を整備した。（登録者 20 人）  
4) 認知症地域支援推進員を配置、認知症ケアカフェを開催した。（3 か所 延べ 48 人）  
5) 認知症本人の気持ち等を知ること、認知症早期発見できるよう、「認知症本人の世界観体験会」を開催。民生委員 35 名が参加。開催にあたり、キャラバン・メイト打合せ会を 2 回実施。（キャラバン・メイト延 12 名参加）。

⑦ 高齢者見守りネットワークの推進

- 1) 70 歳以上の一人暮らし高齢者および見守りの必要な高齢者世帯を対象に台帳整備した。（登録者数 762 人）  
2) 民生委員と共同で見守り訪問を実施するとともに、独居高齢者等へ「安心カード」を配布した。（配布数 103 件）  
3) 高齢者等見守りネットワーク推進会議を 1 回開催した。

（4）介護保険関係

① 介護保険制度利用状況（第 2 号被保険者含む）

1) 認定者数

|    | 要支援<br>1 | 要支援<br>2 | 小計  | 要介護<br>1 | 要介護<br>2 | 要介護<br>3 | 要介護<br>4 | 要介護<br>5 | 小計    | 合計    |
|----|----------|----------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|-------|-------|
| 人数 | 64       | 94       | 158 | 277      | 285      | 205      | 230      | 254      | 1,251 | 1,409 |

2) 介護保険サービス利用者数（延べ人数）

| 種類       | 要支援<br>1 | 要支援<br>2 | 小計  | 要介護<br>1 | 要介護<br>2 | 要介護<br>3 | 要介護<br>4 | 要介護<br>5 | 小計     | 合計     |
|----------|----------|----------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|--------|--------|
| 居宅       | 219      | 578      | 797 | 2,416    | 1,973    | 1,256    | 898      | 639      | 7,182  | 7,979  |
| 施設       | 0        | 0        | 0   | 352      | 412      | 486      | 1,027    | 1,041    | 3,318  | 3,318  |
| 地域<br>密着 | 0        | 0        | 0   | 74       | 230      | 182      | 108      | 68       | 662    | 662    |
| 総計       | 219      | 578      | 797 | 2,842    | 2,615    | 1,924    | 2,033    | 1,748    | 11,162 | 11,959 |

## 9. 商工観光課

（1）商工労政関係

- ① 中心商店街の利用者拡大を図るため、七戸町商工会が運営するコミュニティフリースペース事業費を助成した。利用人数は 2,407 人であった。  
② 商工会など商店街振興事業等に対し、事業費の一部を助成した。  
③ 青森県と連携し、事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）及び創業や新商品開発等に必要な資金の調達を図る中小企業者を対象に、信用保証料の一部補給を行った。

（2）観光振興関係

- ① 各団体のイベント開催事業等に対し、事業費の一部を助成した。令和 7 年度の主なイベントの来場者数は、春まつり約 60,000 人、しちのへ夏まつり（花火打上げ含む）約 3,200 人、しちのへ秋まつり約 7,200 人、しちのへ冬まつり約 200 人であった。  
② 東八甲田家族旅行村の営業日数は 3 日間減の 178 日、キャンプ場利用者は 226 人減の 107 人、

ケビン利用者は 92 人増の 1,492 人、収入は 269 千円の減となった。

また、団体利用では学校行事等で 2 団体延べ 1,774 人（前年 10 団体延べ 1,474 人）が利用した。

- ③ 町営スキー場については、少雪の影響により営業日数が 45 日間（ナイター営業が 31 日間）と昨年対比で 20 日減（ナイター営業は 8 日減）となった。ペアリフトの輸送人員は 48,248 人減の 71,430 人、ポニーリフトは 3,986 人の減の 4,856 人となり、収入においては、5,750 千円の減となった。

（３）地域 DMO 推進関係

- ① 町内へ人を呼び込み地域経済活性化に繋げることを目的に、七戸町観光物産推進協議会において各種事業を行った。
- 1) 町内誘客推進事業では、道の駅しちのへ感謝祭、七戸十和田駅と二ツ森貝塚間のタクシー往復料金の助成等を実施した。
  - 2) 首都圏販売事業では、麻布十番納涼まつりににおいて特産品の販売を行った。
  - 3) 物産展等販売事業では、ヴァンラーレ八戸ホームサンクスデー、戸のじまん市、うまい森青い森フェアにおいて特産品を販売した。
  - 4) 観光情報ウェブサイト運営管理事業では、「旅の蔵七戸ネットモール“たびくら”」の管理運営を行った。

（４）物価高騰緊急対策事業関係

- ① 「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用して次の事業を実施した。
- 1) 物価高騰の影響を受けている町民の家計を支援するため、令和 7 年 6 月 1 日現在の七戸町住民基本台帳登録者 13,852 人に対し、一人あたり一冊 5,000 円分（500 円券×10 枚綴）の「生活応援商品券」（総額 69,260 千円）を配布した。

## 10. 農林課

（１）畑作・野菜・花き関係

- ① 主要品目であるにんにく、ながいも、トマト等の産地維持と品質向上を図ることを目的に、野菜生産振興事業において、種子・土壌病害防除費用、優良種子購入費用、資材購入費として、ゆうき青森農業協同組合に対し総事業費 25,365 千円のうち 1,995 千円を助成した。また、十和田おいらせ農業協同組合に対しては、総事業費 18,965 千円のうち 2,408 千円を助成した。
- ② 農業の中心的担い手農業者等に向けて、生産性向上及び経営の安定と効率化を図ることを目的とした取り組みに対し、農業用機械等購入事業において、農業用機械等購入（総事業費 64,935 千円、20 件）に 14,682 千円を助成した。

（２）経営所得安定対策関係

- ① 令和 7 年度の「経営所得安定対策」への加入状況については、申請対象者件数 722 件に対し、加入者 335 件で 46.4%の加入率となった。農家件数は、前年度から減少傾向にある。令和 7 年産米の作況指数は、青森県全体で「102」のやや良、県南地方も「108」の良であった。
- ② 生産調整実施状況については、主食用米の作付が 1,528.0ha に対し、非主食用米は 769.1.1ha、野菜、その他作物は 807ha であった。
- ③ 町及び町地域農業再生協議会で奨励している重点振興作物（にんにく・ながいも・トマト・ごぼう・キャベツ）に加え、子実用とうもろこしの生産振興を図るため、産地交付金を活用した。
- ④ 農業者の経営安定を図ることを目的とし、収入保険加入促進事業において、加入者が負担する保険料の一部として、9 件、309 千円を助成した。

（３）環境対策関係

町農業用使用済プラスチック適正処理推進協議会が実施した農業用使用済資材回収事業（総事業費 8,516 千円）に対し、3,097 千円を助成した。

（４）新規就農支援事業関係

経営の不安定な就農初期段階の青年等新規就農者に対し経営開始資金を支援する新規就農者育成総合対策事業費補助金の該当者はなかったが、青年等の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、3 経営体に対し、新規就農者定着化支援事業費補助金 1,196 千円を助成した。

（５）生活改善関係

- ① 農産物加工友の会員を中心に、豆腐、りんごジュース等の研修会などを実施した。（農産物加工開発研修センターの利用実績：91 回、420 人）
- ② 事故の未然防止、機器の衛生保持及び長寿命化を図り、農産物加工開発研修センター利用者が安全で安定した加工活動を行うため、加工機器の保守点検及び修繕を実施した。

(6) 畜産関係

- ① 家畜伝染病を予防するため各防疫業務を行い、伝染病の発生防止に努めた。
- ② 町営石倉山放牧場に 6 月 5 日から 10 月 8 日までの期間、肉用牛 55 頭の放牧を行い、放牧牛の適正な管理に努めた。
- ③ 肉用牛経営の安定と推進を図るため、肉用繁殖雌牛導入事業（導入頭数 15 頭）に 1,475 千円を助成した。

(7) 農村整備関係

- ① 県営経営体基盤整備事業を活用し、平成 27 年度から令和 14 年度までの期間において、土場川地区は場整備事業（総事業費 12,020 百万円、484.0ha）を実施している。令和 7 年度は区画整理、暗渠排水工事や排水機場の更新工事を実施した。
- ② 天間ダムについて、県営防災ダム事業及び農業水利施設保全合理化事業を活用し、平成 29 年度から令和 8 年度の期間において、各施設等の更新を実施している。令和 7 年度は管理用制御処理装置、ゲート設備、警報局の整備を実施した。
- ③ 県営農業水利施設保全合理化事業（長寿防災型）（更新型）を活用し、令和 5 年度から令和 8 年度の期間において、川去堰幹線用水路（L=495m）の改修を実施した。
- ④ 和田ダムについて、県営防災ダム事業を活用し、令和 6 年度から令和 11 年度の期間において、各施設等の老朽化対策を実施している。令和 7 年度において各施設等の更新・修繕を実施し、防災ダムとしての機能回復を図った。

(8) 農地中間管理事業関係

農地利用集積を促進するため、転貸面積217ha、件数304件の農地中間管理事業の利用があった。

(9) 中山間地域等直接支払関係

中山間地域等において、農業生産活動を通じて多面的機能を確保するため、生産条件の不利な農用地 52.5ha（1 協定）に対し、4,197 千円（うち国・県補助金 3,148 千円）を助成した。

(10) 多面的機能支払関係

- ① 地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動及び地域資源の適切な保全管理のための推進活動を行う 11 活動組織に対し、56,364 千円（うち国・県補助金 42,273 千円）を助成した。
- ② 水路、農道等の施設の軽微な補修、農村環境保全活動及び多面的機能の増進を図る活動組織（8 活動組織）や老朽化の進む農地周りの農業用排水路等の補修・更新等を行う活動組織（3 活動組織）に対し、32,281 千円（うち国・県補助金 18,109 千円）を助成した。

(11) 林業関係

- ① 森林経営管理法に基づいた森林管理を行うための、意向調査実施計画のに基づき森林所有者へ意向調査を実施した。
- ② 森林の整備・保全を目的として整備された林道の維持管理に努めた。

## 11. 農業委員会

(1) 農地関係

① 許認可関係

総会を 12 回開催し、農地の権利移動等の許可及び県知事に意見具申をした。（農地法第 3 条：90 件 67.84ha、農地法第 4 条：0 件 0ha、農地法第 5 条：13 件 4.25ha）

② 農地の利用集積

効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るため、基本構想に基づく目標に向けて、経営改善を計画的に進めようとする農家に対する支援措置として、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用集積を推進した。（利用権設定：330 件 284.32ha、農地売買等事業：7 件 14.4ha）

また、農地利用集積検討委員会では農地管理状況調査や賃借料情報について検討し、現地調査や情報提供をした。

(2) 農政関係

① 農家への情報提供

今日の激変する農政の中であって、農村・農業の直面する諸問題の大切さを発信し、農家意識の向上を図るべく、「農業委員会だより」を 1 回発行（第 45 号）した。

② 農業者年金

農業者年金加入推進員による農業者年金加入促進のための戸別訪問を実施するなど、積極的に

加入推進に努めた。

③ 農業者労災保険

農業機械使用中の事故に対する補償制度である農業者労災保険の加入促進を行い、農業者の福祉向上に努めた。

## 12. 庶務課

### (1) 総務関係

総務・企画調整・財政・税務・町民・保健福祉・介護高齢・こどもみらい・農林・農業委員会の事務の一部を分掌し、住民登録・戸籍・国民健康保険・後期高齢者医療保険・国民年金・各種医療券・障害者福祉・児童福祉・介護保険の各届出、申請書等の受付及び各種証明書等の交付及び徴収等を行った。また、マイナンバーカードの交付（817件）、電子証明書の発行（274件）、電子証明書の更新（773件）を行った。

### (2) 施設の管理運営関係

#### ① 七戸庁舎

- 1) 七戸庁舎周辺環境整備（草取り、落ち葉清掃）を3回実施した。
- 2) 駐車場側溝蓋2箇所を修繕した
- 3) 車庫シャッター1枚を更新した。

#### ② 柏葉館

- 1) 破損個所が多数あり歩行者や車両に危険が及ぶため、駐車場の側溝入替工事を実施した。
- 2) 経年劣化による設備の故障を防止するため、電気開閉器盤の改修工事を実施した。
- 3) ポーチ天井が大雨の影響により破損したため修繕工事を実施した。
- 4) 施設使用状況は、65団体（343回 延べ6,099人）が会議、研修等のため使用した。

#### ③ 七戸霊園

- 1) 一年を通して霊園管理を委託した。
- 2) 大規模清掃（草刈り、落ち葉清掃等）を5回実施した。
- 3) 区画利用状況

新規区画申込数4区画、名義変更申請数2区画、返還届け数3区画の手続きを処理した。

霊園の使用状況は、504区画のうち366区画が使用許可済で残数は138区画で約73%の使用率となっている。

## 13. 建設課

### (1) 町道維持補修関係

交通に支障のある舗装道の維持補修及び未舗装道（砂利道）の補修に努めた。

### (2) 除雪関係

町保有の除雪機械等23台（トラック3台、ドーザ9台、グレーダ3台、大型ロータリ2台、中型ロータリ1台、小型ロータリ5台（うち県貸付分1台））、業者保有の除雪機械36台（ドーザ34台、小型ロータリ2台）により、除雪作業を行い、幹線道路、生活路線及び歩道の確保に努めた。また、凍結防止剤散布車2台により、急勾配の坂道及び交差点等に凍結防止剤を散布し事故防止に努めた。

除雪機械更新事業として、ドーザ1台を更新した。

### (3) 町道維持修繕工事関係

町内一円の道路維持修繕工事（N=1式）、町道榎林・ニッ森線側溝設置工事（L=78m）、町道銀南木・深山国有林線維持補修工事（L=8m）・町道十字路・長沢線流末排水路整備工事（L=85m）・町道石沢1号線号線舗装補修工事（L=26m）及び町道渡ノ上・野左掛線舗装新設工事（L=155m）を実施した。

### (4) 道路新設改良工事関係

幹線・生活用道路の整備として、町道向町・瑞龍寺線舗装補修工事（L=187m）及び町道東栄団地1号線舗装補修工事（L=155m）を実施した。

また、舗装の損傷が著しい町道見町開拓1号線外1路線（L=286m）、町道十字路・長下線（L=280m）、町道牧場・倉岡・底田線（L=320m）及び町道二ッ森5号線（L=438m）の舗装補修工事及び町道川原町・七戸中学校線歩道舗装補修工事（L=515m）を実施した。

さらに、予算の繰越をしていた事業として町道中野・市ノ渡線（L=360m）・町道栗ノ木沢1号線（L=379m）・町道道ノ上・市ノ渡線（L=244m）の舗装補修工事及び町道筑田天神林線歩道舗装補修工事（L=265m）を実施した。

（5）道路整備工事関係

- ① 舗装改良事業として、町道白石・市ノ渡線舗装補修工事（L=212m）を実施した。
- ② 橋梁補修事業として、下鳥谷部橋のPCBの撤去を含む橋梁補修を実施した。
- ③ 安全性の向上及び適切な維持修繕を行うため、七戸町橋梁点検（N=35 橋）をおこない町内の全橋梁（N=105 橋）の橋梁長寿命化計画の策定を行った。  
また道路舗装点検（L=128 km）及び道路土工構造物点検（N=25 箇所）を実施した。

（6）町営住宅建設工事関係

公営住宅等長寿命化計画に基づき、ききょう団地屋根外壁改修設計（1号棟から3号棟、12戸）を実施した。

（7）七戸町内水ハザードマップ作成関係

都市下水路整備区間における内水浸水リスク情報を住民等へ伝達することを目的に、令和6年度に収集した情報をまとめ、七戸町内水ハザードマップを作成しハザードマップを対象地域へ配布および町ウェブページにて公開した。

## 14. 上下水道課

### 公共下水道事業関係

七戸処理区は、舗装本復旧工事 L=1,974.0m を実施した。

## 15. 学務課

- （1）七戸町教育福祉援助基金奨学金として、高校及び高等専門学校進学者 22 名に授与した。
- （2）七戸町奨学資金貸付金として、大学及び専門学校に進学した新規学生 15 名、在学生 31 名に貸与した。
- （3）七戸町教育奨励賞の最優秀賞を 4 名、優秀賞を 11 名、2 団体 16 名、優良賞を 22 名、3 団体 19 名に授与した。
- （4）町内小・中学校児童生徒の英語の語学力向上及び国際交流の推進を図るため、外国語指導助手 2 名による英語指導を実施した。
- （5）学校給食費の無償化について、少子化対策及び子育て支援の充実を図るため、小学生 497 名、中学生 300 名に給食費を援助した。
- （6）保護者の経済的負担を軽減し、安心して子供を生み育てる環境づくりの推進を図るため、青森県学校給食無償化等子育て支援市町村交付金を活用し、小・中学校（部）が実施する修学旅行等に要する経費の一部を、小学生の保護者等 78 名、中学生の保護者等 87 名に支援した。
- （7）児童生徒の各種相談に対応するため、学校生活相談員を小学校に 2 名、中学校に 1 名配置した。
- （8）特別支援教育の充実を図るため、特別支援教育支援員を小学校に 13 名、中学校に 4 名配置した。
- （9）問題を抱えた児童生徒に対し、関係機関と連携し多様な支援方法により解決を図るため、スクールソーシャルワーカーを 1 名配置した。
- （10）令和 6 年度教育行政事務及び事業の点検・評価に関する報告を行い、ウェブページで公表した。
- （11）きめ細かい学習活動を展開するため、町費負担教員を小学校に 1 名、中学校に 1 名配置し、非常勤講師を小学校に 4 名配置した。
- （12）七戸小学校屋内運動場の劣化した平屋根及び軒天の改修工事を実施した。
- （13）七戸小学校職員室内の暖房・換気設備の集中制御盤が故障したため更新した。
- （14）城南小学校の特別教室（図書室・理科室・家庭科室）にエアコンを設置した。
- （15）城南小学校の屋外給水管が漏水したため布設替工事を実施した。
- （16）城南小学校の高圧受電設備に係る気中開閉器及びケーブルが劣化したため更新した。
- （17）七戸中学校校舎改修工事の設計業務が完了した。
- （18）令和 7 年 12 月 8 日発生の青森県東方沖地震により七戸中学校の校舎窓ガラス計 44 枚及び屋内消火栓設備が破損したため、それぞれ復旧工事を実施した。
- （19）天間林中学校屋外運動場の土手擁壁の一部が傾き、安全管理上支障があるためこれを改修した。
- （20）天間林中学校駐車場の区画線工事及び看板設置工事により、駐車帯の復旧と出入口の動線を改善

した。

- (21) 天間林中学校の故障した防災スクリーン 1 箇所を更新した。
- (22) 天間林中学校の高圧受電設備に係る気中開閉器が劣化したため更新した。
- (23) 令和 7 年 12 月 8 日発生の青森県東方沖地震により天間林中学校体育館の屋内消火栓ポンプが破損したため、これを復旧した。
- (24) 小・中学校における児童生徒及び教職員の学習用端末の操作方法や設定、ICT 機器を活用した授業展開などをサポートするため、ICT 支援員を派遣した。
- (25) GIGA スクール構想推進のため、児童生徒用コンピューターを青森県共同調達により更新した。また、小中学校のネットワーク環境の改善を目的としてネットワークアセスメントを実施した。
- (26) 小学校 3・4 年生の社会科で使用する『七戸町社会科副読本』を刊行した。
- (27) 持続可能な地域づくりを担う人材育成及び七戸高等学校の魅力化を推進するため、新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）を活用して『七戸公営柏葉塾』の管理運営を委託した。七戸高等学校生徒 256 名のうち 102 名が塾を利用し、一人一人の進路に合わせた支援を行い魅力ある教育環境づくりに努めた。

## 16. 生涯学習課

### (1) 社会教育部門

町民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習し、社会の変化に対応しながら潤いと生きがいを持てるよう、生涯の各時期に応じた事業を実施した。

#### ① 社会教育関係

- 1) 家庭教育支援の充実を図るため、認定こども園、保育所、小・中学校において各種子育て講座や家庭教育講座（24 講座）を実施した。
- 2) 子どもたちの安全・安心な居場所づくりを目的として、放課後子ども教室推進事業により、地域コーディネーター（1 名）と教育活動サポーター（5 名）の配置や、学童保育クラブ（4 箇所）と連携し、各種体験・学習活動等を実施した。
- 3) 社会教育関係団体（青少年育成七戸町民会議）の育成に努めた。

#### ② 文化振興関係

- 1) 町立鷹山宇一記念美術館の経費削減及び民間の機動力や企画力により、サービスの向上を目的に公益財団法人鷹山宇一記念美術振興会へ指定管理委託を行った（令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間）。来館者（25,647 人）に対し、芸術文化に関する普及啓発活動および創造的活動を行った。
- 2) 町内の認定こども園、保育所、小学校、中学校において文化・芸術鑑賞事業（音楽・舞踊体験等 124 回）を実施した。
- 3) 「七戸町民文化祭 2025」を開催し、展示部門と舞台部門を実施した（参加者数 46 団体）。

#### ③ 民俗文化財関係

国指定有形民俗文化財である南部小絵馬等を絵馬館で適切に保存し、公開した。

### (2) 文化財部門

世界文化遺産の保存・活用の推進事業を展開した。併せて国史跡七戸城跡をはじめ、町内にある文化財や、埋蔵文化財包蔵地の保護に努めた。

#### ① 世界遺産の保存活用の推進関係

- 1) 縄文遺跡群世界遺産本部と連携して、誘客・集客促進事業やフォーラムへの参加等広報活動を実施した。
- 2) ニツ森貝塚館を運営し、来館者（3,784 人）に対し体験活動や企画展を実施し縄文文化の魅力と世界遺産の啓発を行った。
- 3) ニツ森貝塚ふれあいまつりを開催し、火おこしや弓矢などの体験のほか、ボランティアガイドによる遺跡の解説並びに、企画展として県と連携し発掘調査速報展などを行いニツ森貝塚と縄文文化の魅力を伝えた（来場者：306 人）。
- 4) ニツ森貝塚と緩衝地帯の遺産影響評価及び経過観察を行い構成資産の保存管理を行った。
- 5) 弘前大学と史跡ニツ森貝塚出土資料の共同研究を行い、遺跡の価値を高めるため未整理の発掘調査資料の分析を行った。

#### ② 文化財保護関係

- 1) 国史跡地内の保護のため二ツ森貝塚の民有地（2 件）の史跡買上げ事業を実施した。
  - 2) 国史跡七戸城跡及び二ツ森貝塚の維持管理を行った。
  - 3) 文化交流センターの歴史資料等の保存・整理並びに活用や維持管理を実施した。
  - 4) 国史跡地内の開発にともなう現状変更（2 件）の手続きを行った。
  - 5) 埋蔵文化財包蔵地の土木工事等に係る届出の進達等（3 件）の事務処理を行った。
  - 6) 特別天然記念物であるカモシカの滅失処理（7 件）を行った。
  - 7) 国史跡の土地所有者（19 名）に対し、史跡指定地内に係る土地の固定資産税の補償を行った。
- ③ 民俗文化財関係
- 1) 郷土芸能の普及と後継者育成のための支援を行った。
  - 2) 郷土芸能の保存のため、過去の郷土芸能発表会の映像を VHS から DVD へ変換した（3 件）。

## 17. スポーツ振興課

生涯スポーツの普及振興及び競技スポーツの支援体制の充実、関係施設の整備を図った。

### （1）社会体育関係

- ① 生涯にわたるスポーツライフの実現を図るため、町民スポーツレクリエーション祭 4 種目（84 名参加）及び軽スポーツの集い 1 回（21 名参加）、アクアビクス教室 12 回（延べ 177 名参加）を実施した。
- ② 競技者の育成を図るため、スポーツ協会（加盟団体 21）、スポーツ少年団（加盟団体 18）に補助金を助成した。また、スポーツ大会等選手派遣費として、57 名に補助金を助成した。
- ③ 競技力の向上を図るため、ジュニアスキースクール（延べ 70 名参加）を実施した。
- ④ 七戸町スポーツ顕賞を授与した。（スポーツ賞 2 名、スポーツ優秀賞 3 名・1 団体、生涯スポーツ奨励賞 4 名・1 団体）

### （2）施設整備関係

- ① 町立武道館照明改修工事（LED 化）を実施した。
- ② 総合運動公園の予防保全型の老朽化対策を進め、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現するため公園施設長寿命化計画を策定した。

### （3）施設利用状況

| 施 設 名                        | 利用者数     |
|------------------------------|----------|
| 総合アリーナ（アリーナ・多目的ホール）          | 50,492 人 |
| 〃（トレーニング室）                   | 17,739 人 |
| 〃（研修室・ミーティングルーム）             | 2,044 人  |
| 武道館・讃道館                      | 8,694 人  |
| 総合運動公園（多目的グラウンド・野球場・テニスコート）  | 35,996 人 |
| 屋内温水プール                      | 6,651 人  |
| ふれあいセンター                     | 2,590 人  |
| 屋内スポーツセンター                   | 14,729 人 |
| その他中央公園内（バーベキューハウス・バッテリーカー等） | 7,708 人  |

## 18. 七戸中央公民館

- （1）公民館事業として、潤いのある美しい地域づくりを目指して「環境美化運動」を各分館（2 分館）に位置づけ、花いっぱい運動（550 本）を実施した。
- （2）町民の多種多様な学習意欲に対処すべく、「中央公民館講座」を 10 講座（受講者 228 名 延べ参加者数 446 名）開講し、自主活動への発展やグループ作りに繋げることに努めた。南公民館事業において同様の講座事業は統合し事業を行った。
- （3）図書室の蔵書（現在 19,884 冊）充実のため、一般図書 143 冊、児童図書 141 冊、合計 284 冊を購入、寄贈図書として 5 冊受入れした。
- （4）絵本や本に親しむきっかけづくりとして、お話の会「ゆりかご」の協力を得て、幼児から高齢者まで幅広い年代を対象として、年 2 回「おはなし会」を開催した。（延べ参加者数 100 名）

- (5) 町内児童の読書習慣の向上を図るため、天間林小学校・天間林児童センターに毎月 1 回図書配本を実施した。
- (6) 「令和 8 年七戸町二十歳のつどい」(出席者 74 名)を実施した。

#### 19. 七戸南公民館

- (1) 今年度より、寿大学と柏葉大学の事業を統合し、60 歳以上の町在住者を対象に教養・趣味・健康の 3 分野を軸に、生涯学習を目的とした「七戸いきいき大学」を 10 講座開講した。(受講者数 51 名)
- (2) 七戸小学校・城南小学校の 3 年生を対象に、課外学習支援として、町内の文化団体並びにサークル団体が小学校に赴き、普段の活動を一緒に体験する「町の名人に学ぶ」事業 6 講座を実施した。
- (3) 文化・サークル団体の会員拡大や活動への参加を後押しするため、活動紹介などを実施した。
- (4) 七戸町文化協会(加入団体 38)事業として「七戸町文化協会の祭典 2026」を実施し、文化振興を図った。

#### 20. 七戸中央図書館

- (1) 蔵書(現在 31,767 冊)充実のため、一般図書 152 冊、児童図書 159 冊、合計 311 冊を購入。寄贈図書としては 305 冊を受入れた。
- (2) 町内児童の読書習慣の向上を図るため、七戸小学校・城南小学校に学校配本を実施した。
- (3) 子どもの読書活動推進のため、子どもや保護者に本に親しんでもらうことを目的におはなし会 2 回延べ 36 人)を開催した。
- (4) 図書館ボランティアの活動と育成を目的に、おはなし会を開催した。
- (5) 七戸町の未来を担う子どもたちの豊かな心づくりと、地域全体で子育てを応援する環境づくりを目指して「ブックスタート事業」を実施した。

#### 21. 国民スポーツ大会推進室

- (1) 第 2 回総会で承認を受けた事業計画、予算及び青の煌めきあおもり国スポ七戸町開催推進総合計画に基づき、大会の開催に向けた事業を計画的に実施した。
- (2) 専門委員会(総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通)では、開催推進総合計画及び総会からの付託事項等に基づき、各種実施計画、実施要項等について審議を行い、計 18 件を策定し、又は一部変更について決定した。  
また、専門委員会が所管する付託事項に係る事業として、広報啓発事業及び歓迎装飾・町民協働事業を実施した。
- (3) 「わた SHIGA 輝く国スポ」剣道競技会(滋賀県湖南市)を視察し、同市開催の事業概要説明会に参加したことにより、剣道競技会の開催及び運営に係る必要な事務等に関する知識を深めることができた。
- (4) 青の煌めきあおもり国スポ剣道競技会の会場地市町村として、競技会係員(庁内職員)が一体となって輸送、歓迎、駐車場等の競技会場の運営に係る業務を円滑に行うため、青の煌めきあおもり国スポ七戸町実施本部を設置した。

